

地理 歴史 公民 次期学習指導要領（新課程）
履修に関するアンケート結果まとめ

2020.3
株式会社ラーンズ
情報センター

調査概要

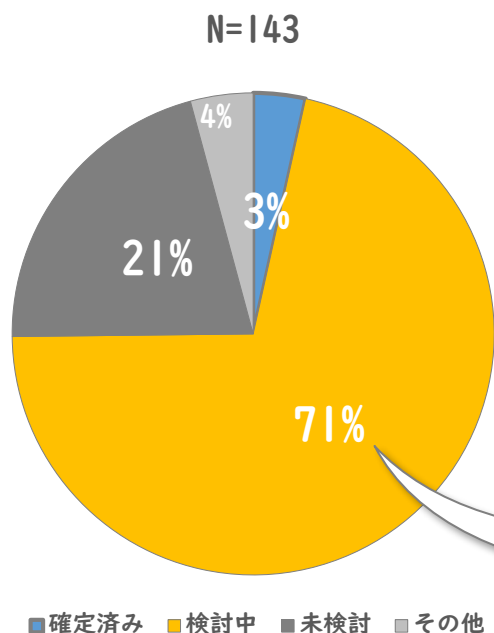
調査テーマ	次期学習指導要領(新課程)の履修に関するアンケート
調査方法	訪問によるヒアリング WEBによるご回答等
調査対象	全国の国公立・私立高等学校, 中等教育学校
調査時期	2019年10月17日(木)~2020年2月28日(金)
有効回収数	143校

【質問内容】

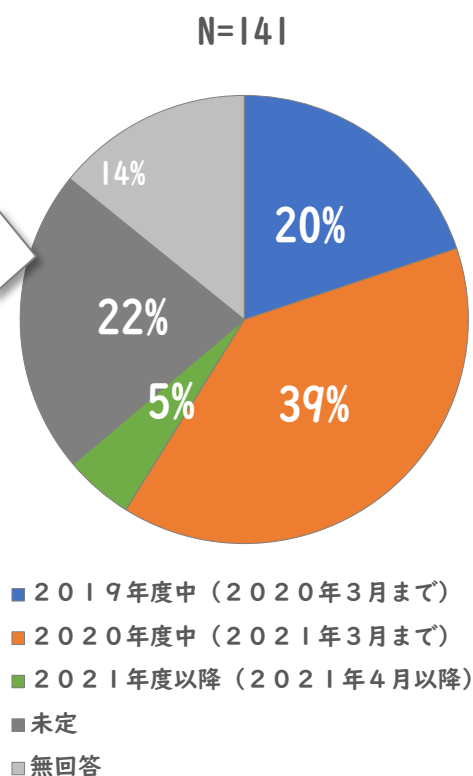
- (1) 次期学習指導要領の検討状況
- (2) カリキュラム決定時期
- (3) 科目別検討状況
- (4) 次期学習指導要領以降に際しての課題
- (5) 次期学習指導要領内容に関する課題
- (6) 次期学習指導要領における教材

(1)(2) 次期指導要領の検討状況

(1)次期学習指導要領における地理歴史・公民科目の履修単位数の貴校での検討状況について教えてください。



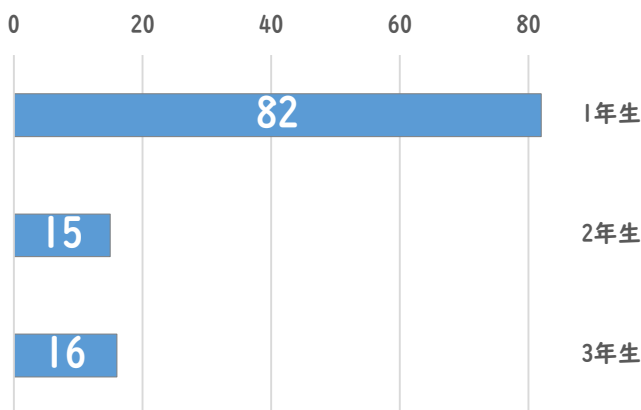
(2)貴校でカリキュラムが決定するのはいつ頃のご予定でしょうか。



- 約7割の学校で、次期指導要領における履修単位数等の検討をされている
- 今年度中にカリキュラムが決定する学校が2割で、半数以上は20年度中に決まる予定

(3) 次期指導要領 科目別検討状況

歴史総合 (N=113)

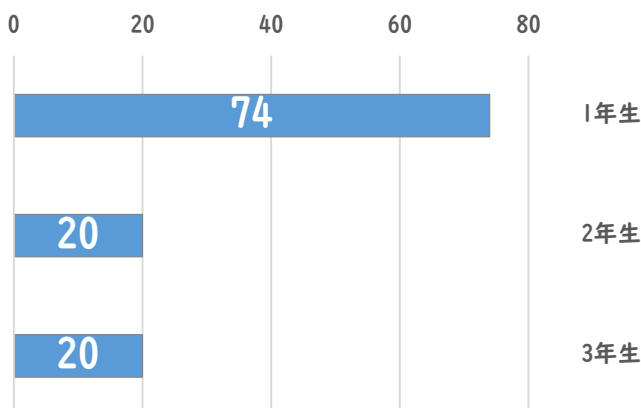


次期指導要領で、必修修の設定となる3つの科目については・・・

3年生 「歴史総合」「地理総合」を1年生で履修すると考える学校が多い。

「公共」は、2年生、3年生まで幅広く履修を考える学校が多い。

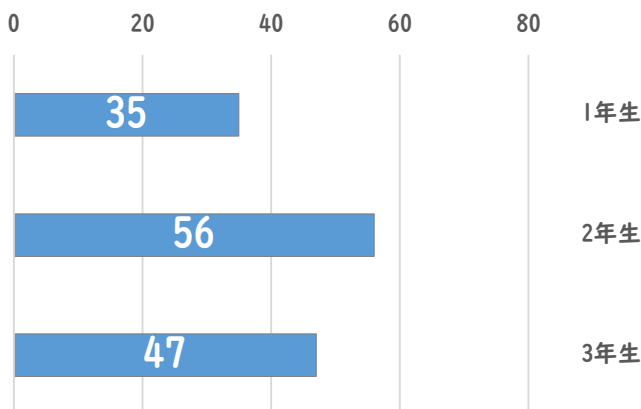
地理総合 (N=114)



基本的には必修修科目を終えてからでないと、選択科目（「日本史探究」「世界史探究」「地理探究」「倫理」「政治・経済」）の履修はできないことが背景に、低学年からの履修が多いが、公共については、共通テスト等大学入試への対応として、3年生での履修も多いと考えられる。

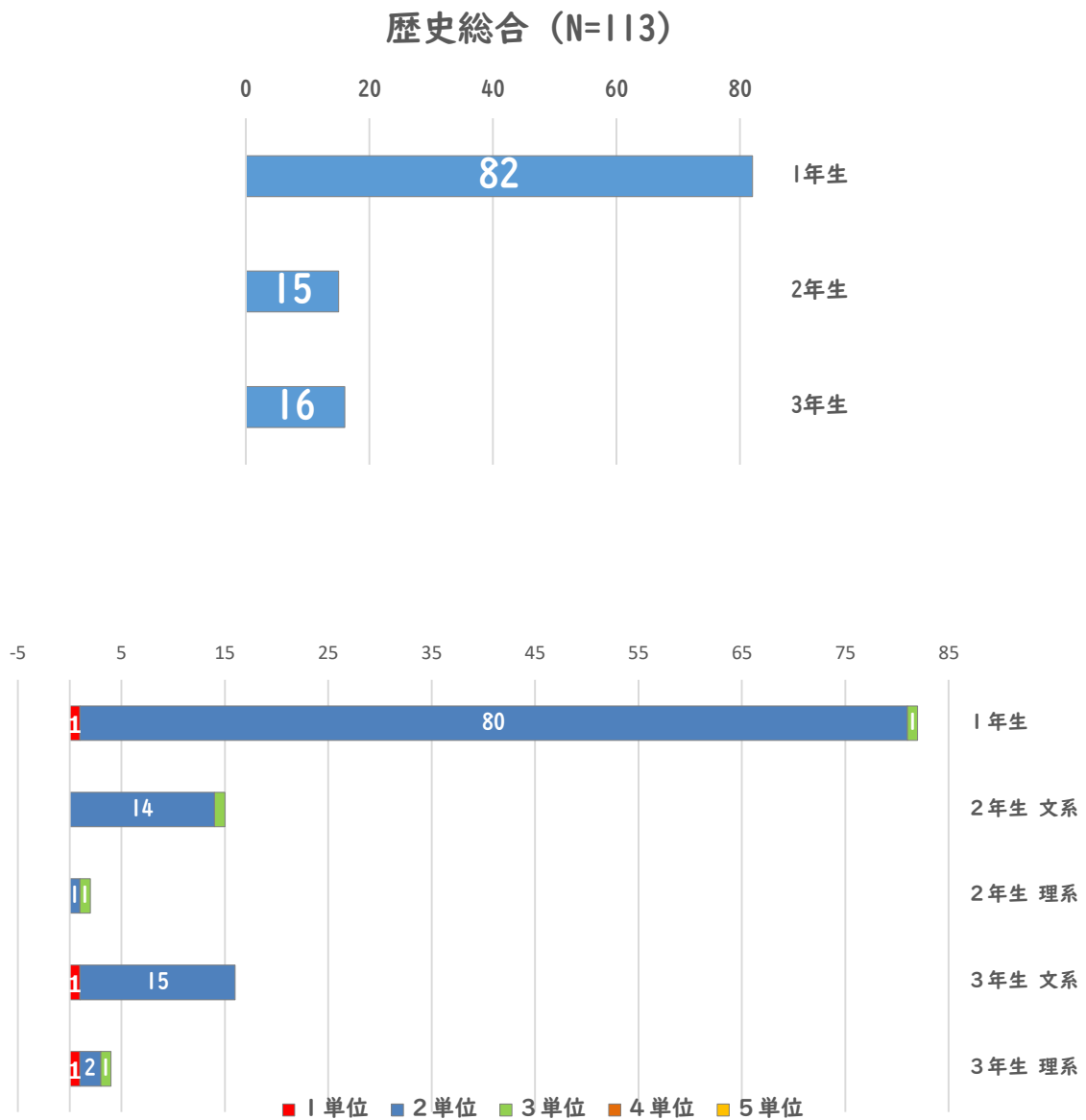
※なお、県によっては、例えば1年生前期に必修修科目、後期から選択科目を履修することを可能とする発信も聞かれる。但し、次期指導要領初年度の教科書発刊状況が履修に影響する。

公共 (N=138)



(3) 次期指導要領 科目別検討状況 (歴史総合)

(3) 歴史総合における次期指導要領の履修予定を教えてください (履修学年/単位数)

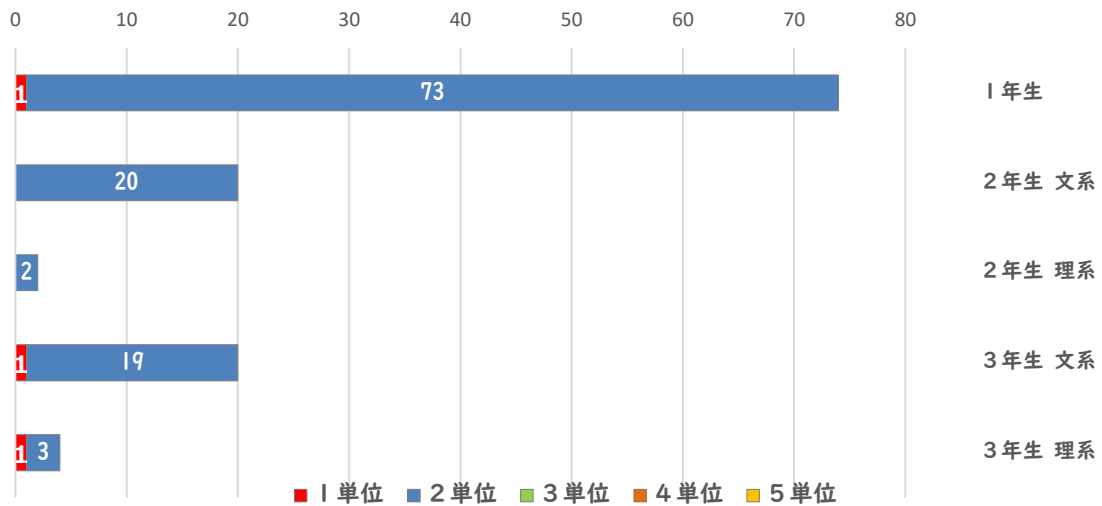
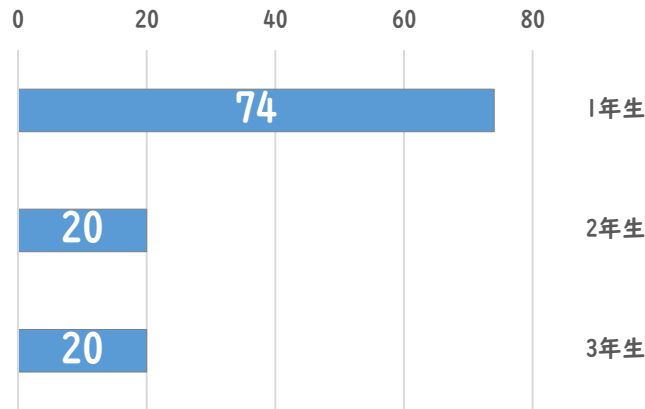


- 7割以上の学校で、1年次の必修履修科目として考えている
- 2単位で履修する学校がほとんどである。

(3) 次期指導要領 科目別検討状況 (地理総合)

(3) 地理総合における次期指導要領の履修予定を教えてください(必須・選択/単位数)

地理総合 (N=114)

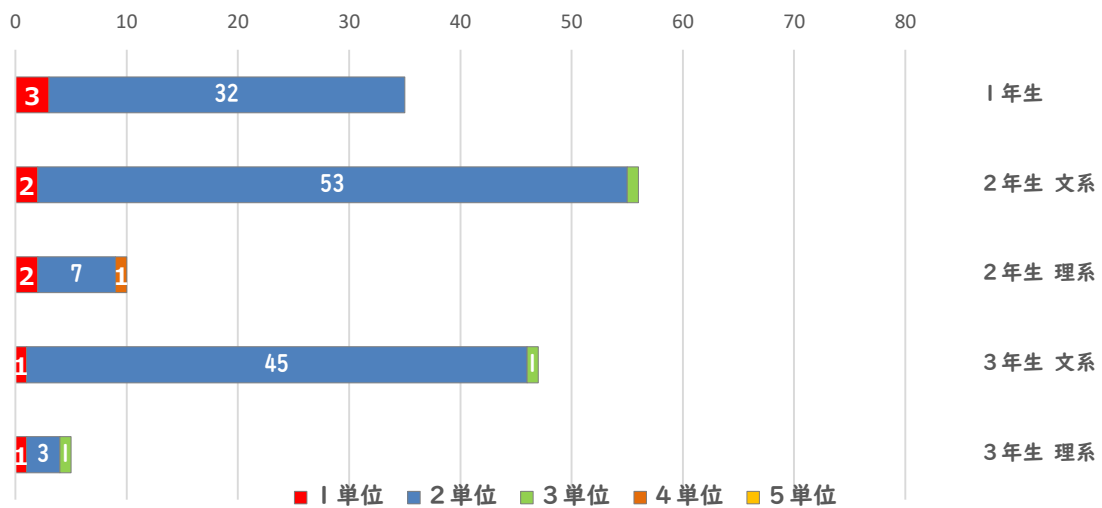
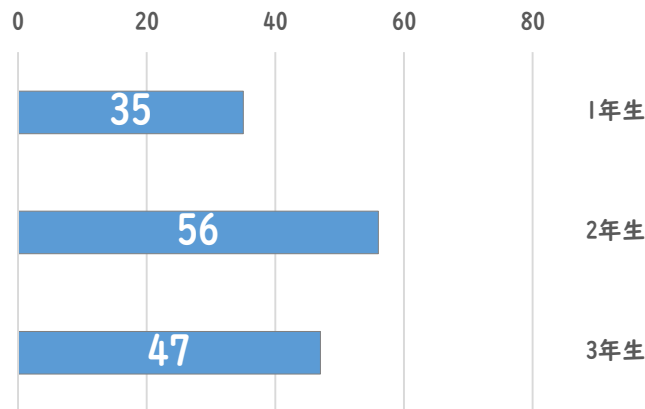


- 6割以上の学校で、1年次の必修履修科目として考えている
- 2単位で履修する学校がほとんどである。

(3) 次期指導要領 科目別検討状況 (公共)

(3) 公共における次期指導要領の履修予定を教えてください(必須・選択/単位数)

公共 (N=138)

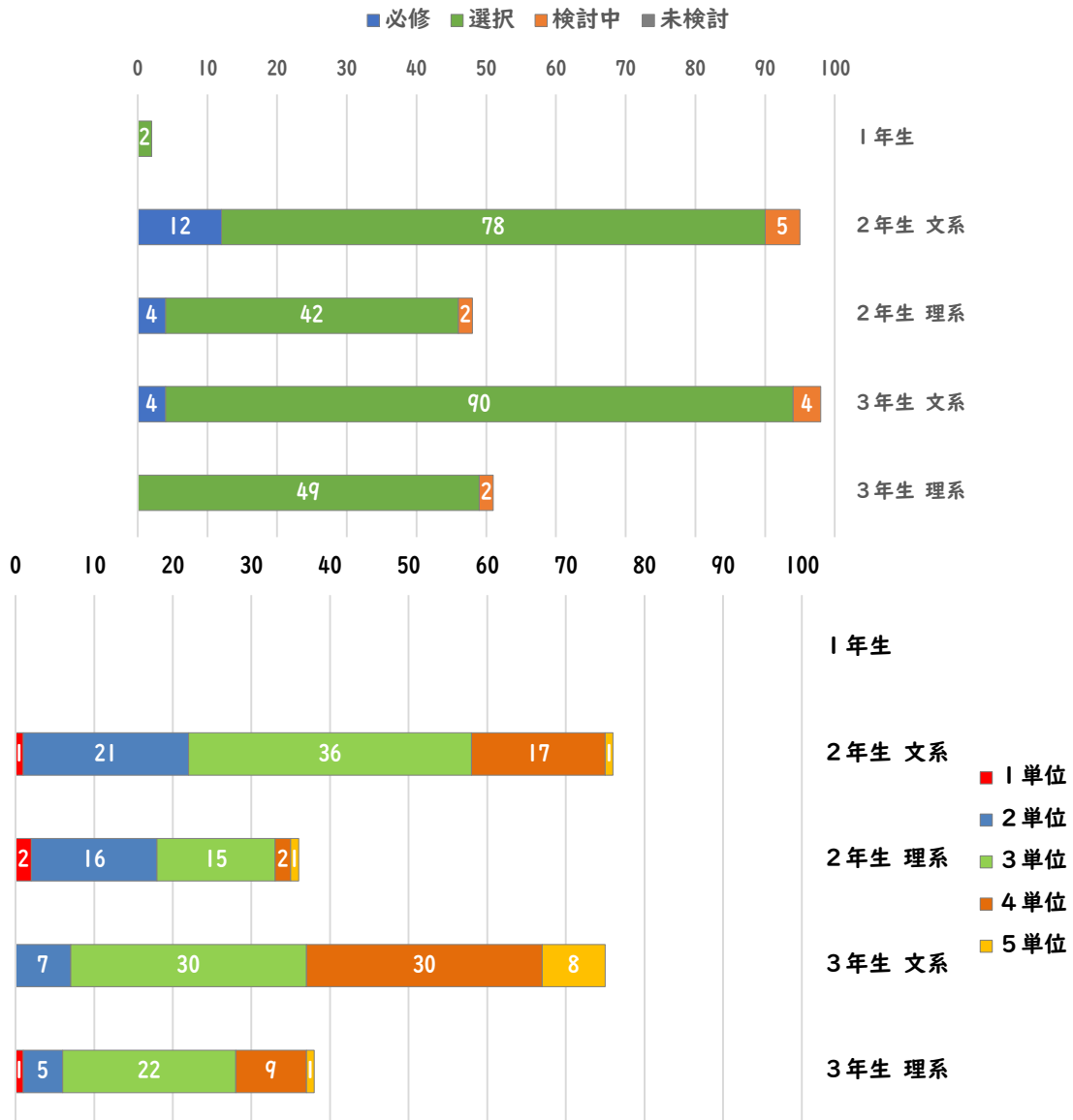


- 各学年で履修を考えている学校がほぼ均等に分かれる結果となった。
- 2単位で履修する学校がほとんどである。

(3) 次期指導要領 科目別検討状況 (世界史探究)

(3) 世界史探究における次期指導要領の履修予定を教えてください (必須・選択/単位数)

世界史探究



- ほとんどの学校が選択科目として考えている。開講予定割合は文系96%,理系53%
- 履修予定学年は,2年生以降となり,文系中心で開講される見込み
- 単位数は3単位と4単位の割合が多い。

(3) 次期指導要領 科目別検討状況(世界史探究)

・履修学年と予定されている単位数

文系	2年	○	3年	○	83
		○		×	7
		×		○	11
		×		×	5
理系	2年	○	3年	○	38
		○		×	8
		×		○	11
		×		×	51

文系

- ・ 2, 3年生を通して開講する予定の学校の合計単位数の割合
6単位が57%, 7単位が27%, 8単位が16%
- ・ 2年生のみで開講する予定の学校の合計単位数の割合
3単位60%, 4単位と2単位が各20%
- ・ 3年生のみで開講する予定の学校の合計単位数の割合
4単位が44%, 3単位が33%, 2単位が22%

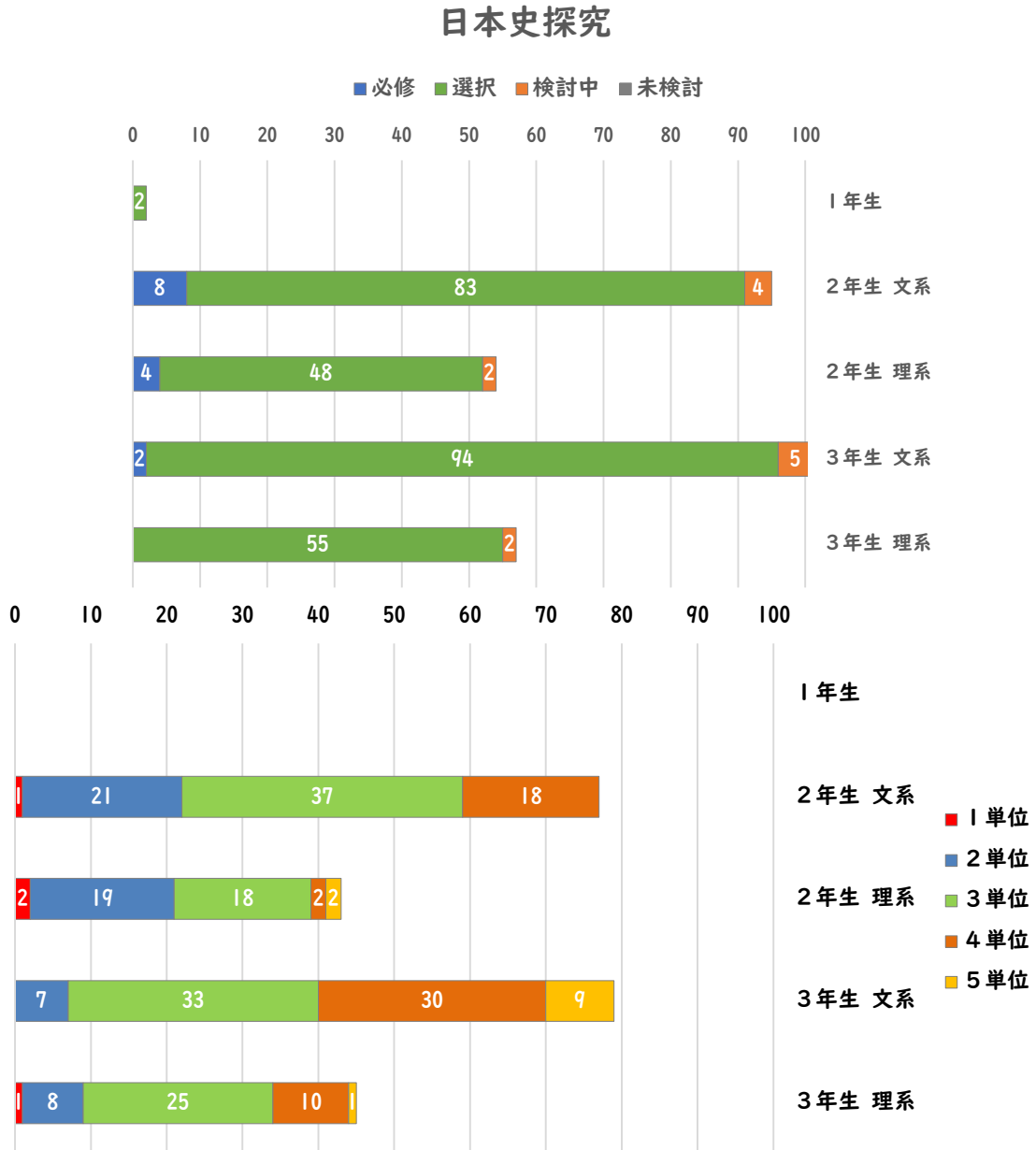
理系

- ・ 2, 3年生を通して開講する予定の学校の合計単位数の割合
6単位が56%, 5単位が26%, 4単位が18%
- ・ 2年生のみで開講する予定の学校の合計単位数の割合
2単位が50%, 3, 4, 5単位が各17%
- ・ 3年生のみで開講する予定の学校の合計単位数の割合
3単位が50%, 4単位が40%, 5単位が10%

※単位数の割合は、単位数を記入いただいた中での割合です

(3) 次期指導要領 科目別検討状況 (日本史探究)

(3) 日本史探究における次期指導要領の履修予定を教えてください (必須・選択/単位数)



- ほとんどの学校が選択科目として考えている。開講予定割合は文系96%,理系58%
- 履修予定学年は, 2年生以降となり, 文系中心で開講される見込み
- 単位数は3単位と4単位の割合が多い。

(3) 次期指導要領 科目別検討状況(日本史探究)

・履修学年と予定されている単位数

文系	2年	○	3年	○	85
		○		×	6
		×		○	11
		×		×	5
理系	2年	○	3年	○	44
		○		×	8
		×		○	11
		×		×	46

文系

- ・ 2, 3年生を通して開講する予定の学校の合計単位数の割合
6単位が54%, 7単位が26%, 8単位が18%
- ・ 2年生のみで開講する予定の学校の合計単位数は
3単位が50%, 2単位と4単位が各25%
- ・ 3年生のみで開講する予定の学校の合計単位数の割合
4単位が44%, 3単位が33%, 2単位が22%

理系

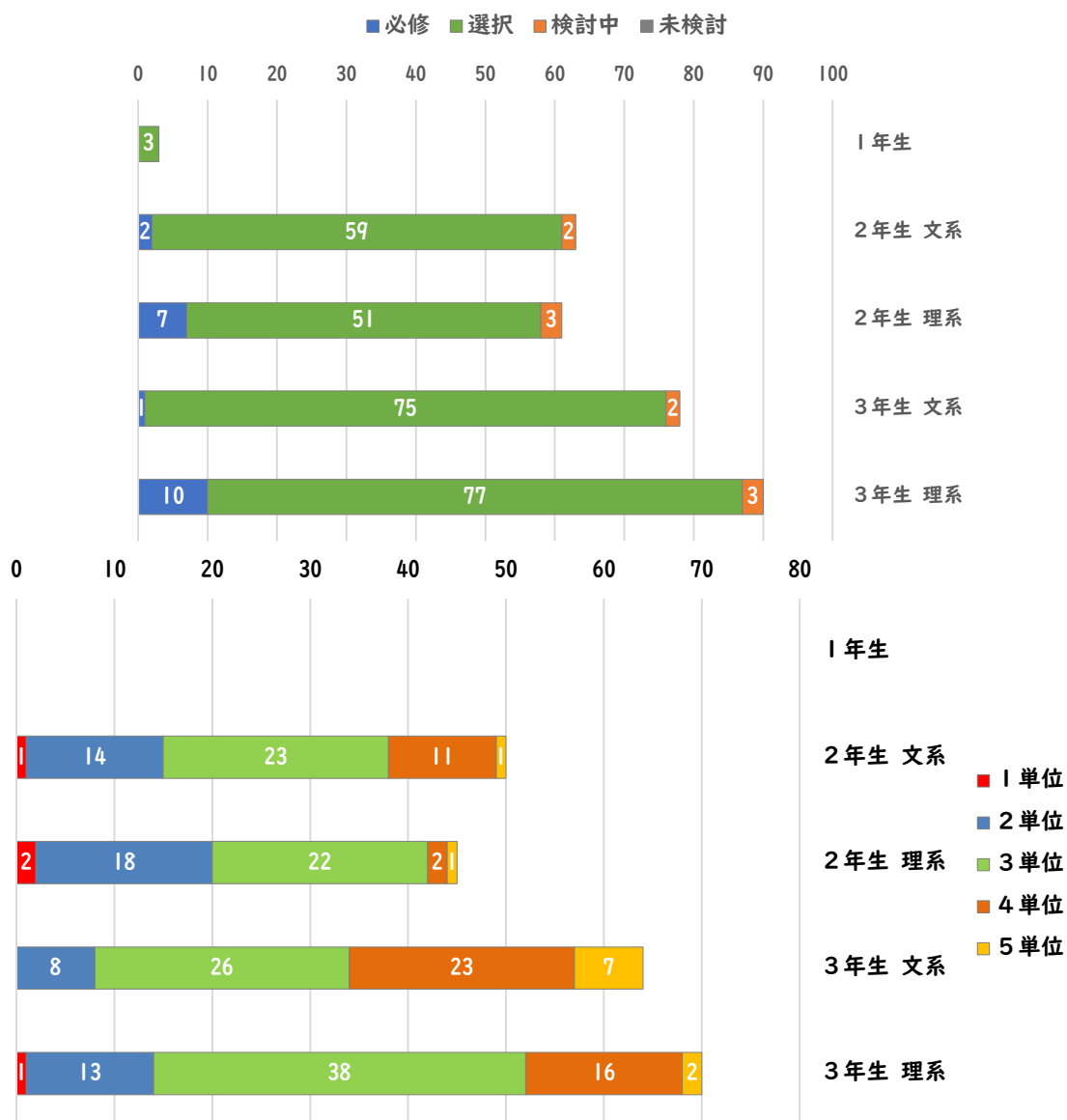
- ・ 2, 3年生を通して開講する予定の学校の合計単位数の割合
6単位が50%, 5単位が34%, 4単位が16%
- ・ 2年生のみで開講する予定の学校の合計単位数の割合
2単位と5単位が各33%, 3単位と4単位が各17%
- ・ 3年生のみで開講する予定の学校の合計単位数の割合
3単位が50%, 4単位が40%, 5単位が10%

※単位数の割合は、単位数を記入いただいた中での割合です

(3) 次期指導要領 科目別検討状況 (地理探究)

(3) 地理探究における次期指導要領の履修予定を教えてください(必須・選択/単位数)

地理探究



■ほとんどの学校が選択科目として考えている。開講予定割合は文系79%,理系88%

■履修予定学年は,2年生以降となり,文理両方で開講される見込み

■単位数は3単位の割合が最も多く,3年次は2~4単位と幅が見られる。

(3) 次期指導要領 科目別検討状況 (地理探究)

・履修学年と予定されている単位数

文系	2年	○	3年	○	55
		○		×	6
		×		○	21
		×		×	23
理系	2年	○	3年	○	55
		○		×	3
		×		○	32
		×		×	13

文系

- ・ 2, 3年生を通して開講する予定の学校の合計単位数の割合
6単位が48%, 7単位が34%, 4単位が18%
- ・ 2年生のみで開講する予定の学校の合計単位数の割合
2単位と3単位と4単位が各33%
- ・ 3年生のみで開講する予定の学校の合計単位数の割合
4単位が41%, 3単位が36%, 2単位が23%

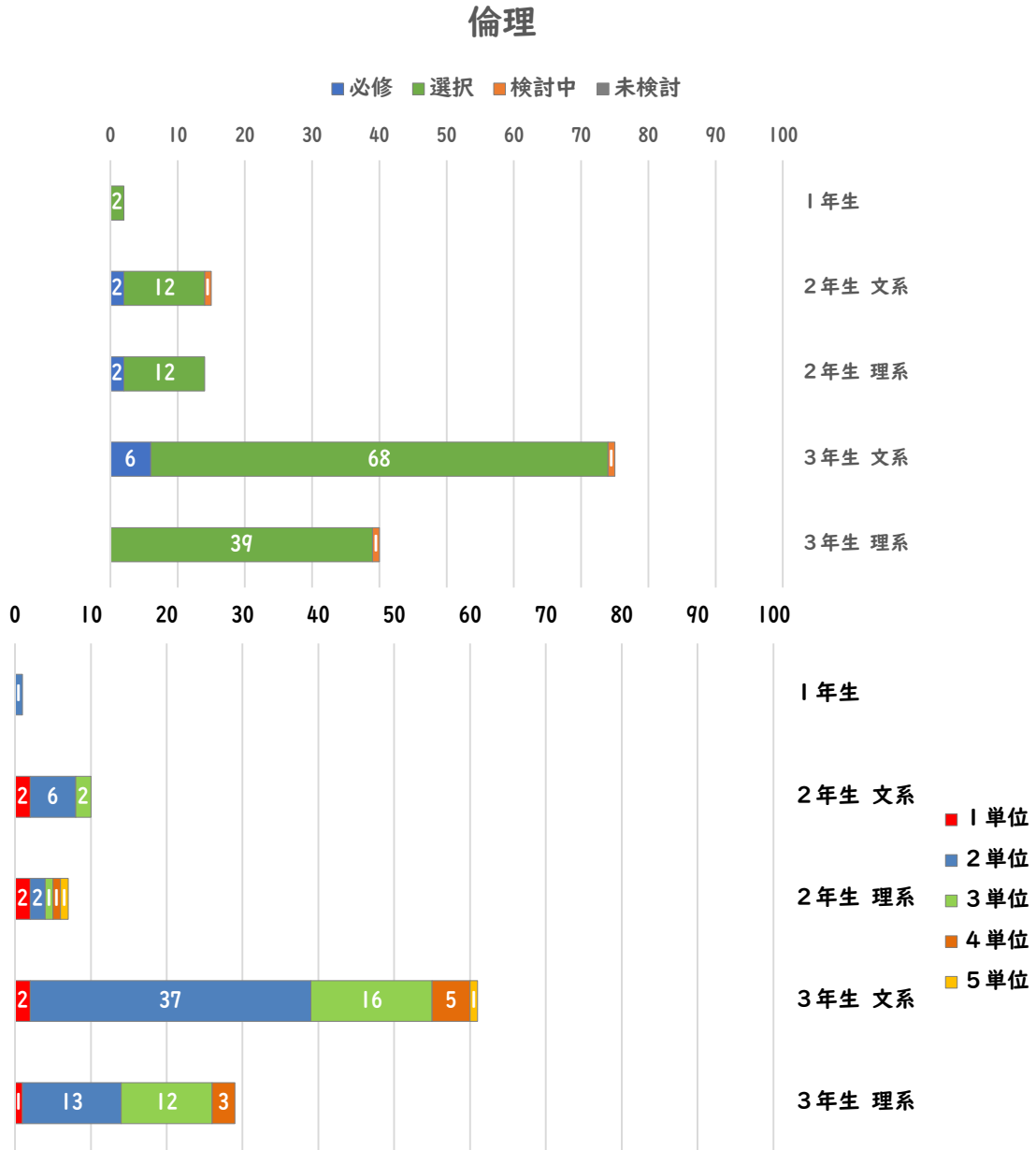
理系

- ・ 2, 3年生を通して開講する予定の学校の合計単位数の割合
6単位が50%, 5単位が34%, 4単位が15%
- ・ 2年生のみで開講する予定の学校の合計単位数の割合
3単位と4単位が各50%
- ・ 3年生のみで開講する予定の学校の合計単位数の割合
3単位が46%, 4単位が39%, 2単位が14%

※単位数の割合は、単位数を記入いただいた中での割合です

(3) 次期指導要領 科目別検討状況 (倫理)

(3) 倫理における次期指導要領の履修予定を教えてください(必須・選択/単位数)



■ほとんどの学校が選択科目として考えている。開講予定割合は文系85%,理系45%
 ■履修予定学年は,2年生以降となり,文理両方で開講される見込みだが,比較的3年生文系の割合が多い。単位数は2単位が中心。

(3) 次期指導要領 科目別検討状況 (倫理)

・履修学年と予定されている単位数

文系	2年	○	3年	○	10
		○		×	4
		×		○	64
		×		×	14
理系	2年	○	3年	○	10
		○		×	3
		×		○	29
		×		×	52

文系

- ・ 2, 3年生を通して開講する予定の学校の合計単位数の割合
4単位と6単位が各38%, 2単位が25%
- ・ 2年生のみで開講する予定の学校の合計単位数の割合
2単位と1単位が各50%
- ・ 3年生のみで開講する予定の学校の合計単位数の割合
2単位が65%, 3単位が26%, 4単位が8%

理系

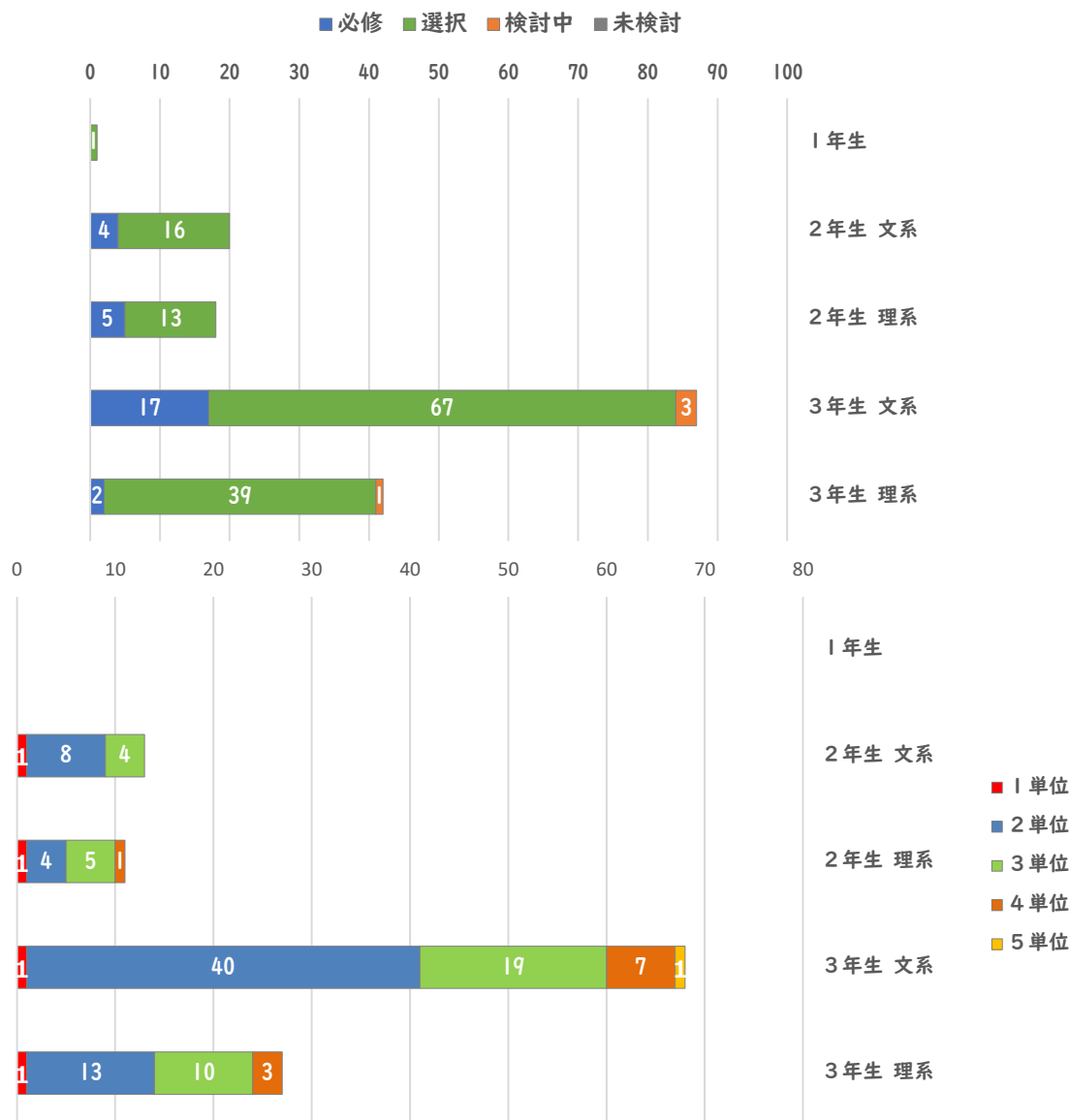
- ・ 2, 3年生を通して開講する予定の学校の合計単位数の割合
2単位が40%, 5単位と6単位と7単位が各20%
- ・ 2年生のみで開講する予定の学校の合計単位数の割合
4単位が100%
- ・ 3年生のみで開講する予定の学校の合計単位数の割合
2単位が48%, 3単位が39%, 4単位が13%

※単位数の割合は、単位数を記入いただいた中での割合です

(3) 次期指導要領 科目別検討状況 (政治・経済)

(3) 政治・経済における次期指導要領の履修予定を教えてください (必須・選択/単位数)

政治・経済



- 多くの学校が選択科目として考えているが、3年生文系では必修も一定数見られる。開講予定割合は文系91%,理系48%
- 履修予定学年は、2年生以降となり、3年生が中心で単位数は2単位と3単位が中心。

(3) 次期指導要領 科目別検討状況 (政治・経済)

・履修学年と予定されている単位数

文系	2年	○	3年	○	16
		○		×	4
		×		○	68
		×		×	9
理系	2年	○	3年	○	12
		○		×	6
		×		○	29
		×		×	52

文系

- ・ 2, 3年生を通して開講する予定の学校の合計単位数の割合
4, 6単位が各30%, 3単位が20%, 2, 5単位が各10%
- ・ 2年生のみで開講する予定の学校の合計単位数の割合
2単位と3単位が各50%
- ・ 3年生のみで開講する予定の学校の合計単位数の割合
2単位が61%, 3単位が28%, 4単位が11%

理系

- ・ 2, 3年生を通して開講する予定の学校の合計単位数の割合
2, 6単位が各33%, 4, 5単位が各17%
- ・ 2年生のみで開講する予定の学校の合計単位数の割合
3単位が50%, 2単位が33%, 4単位が17%
- ・ 3年生のみで開講する予定の学校の合計単位数は
2単位が55%, 3単位が30%, 4単位が15%

※単位数の割合は、単位数を記入いただいた中での割合です

(4) 次期指導要領移行に際しての課題

《教科書・大学入試を含む情報の収集》

- 教科書や入試問題, 受験科目等が不透明な中でカリキュラムの具体化が難しい
- 地歴・公民両方の情報を得られる研修の機会がなく, カリキュラム検討ができない
- 教科書等のつくりがどうなるのかわからず, 想定する単位数等で賄えるのかどうか。不断のカリキュラム改訂が求められる。
- 他教科も含めた指導要領全体の理解, 働き方改革への対応を含めた勤務体制
- 大学入試の科目(理科・社会)がはっきりしない中で, 単位数をどうするのか。理系の受検対応
- 文系は「歴史探究」で1科目, 公民から1科目と予想。理系は地理探究or公民と予想。歴史総合や公共が科目として認められた場合, 理系用に検討が必要。

《カリキュラム(全体)》

- 他教科との調整, 特に国語・地歴公民の授業の配置。
- 今年度よりも単位数が増えるので, 他教科が譲ってくれるのか
- 単位数の確保。外部模試の探究範囲分が間に合うのだろうか
- 現時点で校内での話が全く進んでいないことが一番の課題
- SSH, 文科省の研究指定との絡み

《カリキュラム(地歴・公民)》

- 3年次での選択科目の配置(文系・理系それぞれ)。
- 地歴・公民の時間数が多くなるが, 今までの教科バランスを維持すべきかどうか
- 文理融合カリキュラムの作成
- 単位数を確保しようとする, 生徒の選択の幅を狭めてしまう
- 1年次が公共だけで十分なのか? 3年次の選択と受験科目のリンク(特に理系)
- 歴史・地理総合, 公共の3科目を1年に開講できるか。無理な場合, 何を2年で開講するか
- 思考力, 判断力が求められると想定されるため, そこを強化していく必要がある。
- 複数のカリキュラム案を想定し, 判明したものに依じて弾力的に対応する。

《教員配置など》

- 同時展開の科目が多くなり, 教員と教室の確保
- 歴史総合の担当教員(日本史 or 世界史)
- 地理専門以外の教員が地理を教える点

《探究活動》

- 科目横断的な学習, 探究的な要素をどの程度組み込みなのか
- 探究活動への教員同士の理解の共有
- 探究学習と総合的探究の時間との関係, 探究活動における評価方法

(5) ご担当教科・科目における次期指導要領の課題

《新課程入試の動向》

- 共通テストや新大学入試との整合性
- 地理が必修となったことは私の担当科目としては歓迎だが、一方、大学入試において地理が入試科目に設定されない可能性があるのは、生徒にとって著しい不利益。
- 大学入試科目による。理系は地理探究を中心に考えるが、総合は公共の2単位科目で受験できる大学が出たら考えねばならない。

《カリキュラム等》

- 地歴公民科は必修が多くなるのに選択科目も増えるので、他教科との単位数が折り合うのか頭が痛い。
- 必修3科目をどの学年で履修させていくか。探究科目をどこまで開講するか。
- 歴史総合で日本史と世界史のバランスをどうするのか、総合と探究の関係。
- 基礎科目については1年生で履修し、探究科目は2年生、3年生は選択で受験対応が良い。そうすると地歴・公民の単位数がかなり多くなり課程が組めない。

《授業内容・体制》

- 総合科目の授業準備の困難さ。探究科目の教材開発力の欠如が不安。
- 教科書がないので、指導イメージがわからない。公共の教科書と共通テストの関連性。
- 地理の単位数が増加することにより、地理専門の教員が不足すること
- 歴史総合の授業内容の具体的検討、日本史・世界史探究との役割分担と融合方法
- 歴史総合と探究をどのような関係性でおこなうか。全く別のものとして考えられるのか、近現代分野を歴史総合で授業した分を探究で省けるかなど。
- 教科担当の専門性と担当科目のバランス（新課程移行に伴い、現職教員と必要科目が合わなくなる）

《生徒による主体的な学び》

- 生徒による主体的な学びを「倫理」においてどう実現していくか
- 主体的学習には知識が必要、知識のためには講義形式の授業も必要。時間が不足する可能性が出てくる

《探究学習／アクティブラーニング》

- 生徒、教師間の協働活動により、多面的・多角的視座から思考を深めるアクティブラーニングのあり方
- 探究学習が主張されているが、世界史や日本史のように、教養を身に付けた上でなければ有用な思想的発展や議論は行われぬ点が大いに課題。
- 対話的で深い学びをどれだけ授業に取り入れるか

《その他》

- 中学校段階の社会科で学びが浅く、暗記で高校入試をやり過ごしただけの状態で「総合」を学び、その水準で「探究」に進んだときに歴史的思考力を身につけさせることができるのか不安がある。

(6) 次期指導要領における教材

《探究学習／アクティブラーニング対応教材》

- 探究学習の指針となるようなワークシートや問題集。
- ランズから既刊されている探究学習向けの教材が活用できる。
もう少しネタを増やしていただければと考えている。
- Think and Questシリーズの日本史・世界史をあわせたもの。
- 模擬選挙や模擬裁判など体験型学習がスムーズに実施できる教材(公民)
- 探究に至るにあたって必要な基礎知識が自学自習できるような問題集。

《思考力・判断力育成教材》

- 教科書や資料集を読み、考えながら取り組めるような教材
- 思考力を鍛えるワークや問題集(WINSTEP地理BでいうSTEP6ばかり集めたもの)

《資料の読み取り・図版を元にした教材》

- 統計, 図版等に対するトレーニング教材があると良い(地歴)
- 資料の読み取り, グラフ, 表, 図版を元にした問題集(地歴)

《ICTを利用したデジタル教材》

- クラウドにあげられる動画教材, 自宅で映像(5~10分)で概要が把握できる教材, 歴史の流れがつかめる動画(短め)があれば助かる。
- スマホからアクセス・振り返りができるような教材があれば, 家庭学習など取り組みやすい
- 地理についてGISが自学できる教材はできないか。(地理情報システム:GIS)

《資料集》

- 家庭学習で使いやすい資料集(地図帳とが合体させたもの)(地理)
- 資料が豊富で, かつその資料がどのように活用できるかを示した解説付の資料集
- 帝国書院の日本史通覧が良い出来になっていると思います。(地理)
- 清水書院「倫理資料集 ソフィエ」:原典資料と合わせて読解問題がついているところ
- テーマ史の出題を予測する。WINSTEPの資料問題を増やすことを期待する

《その他の回答》

- 反転授業ができるような教材(サブノートのもの)
- 家庭学習教材として, 進研模試の過去問題集を活用したい。要望としては, 問題を選択し, オリジナル問題集が作成できるシステムを5教科全てで対応していただきたい
- 教科書で学ぶ内容と現実とを橋渡しするもの(いきた知識・理解への転換が図れる)
- 教科書を読む上で白地図, 白年表の見開き教材
- 中学校の総復習教材
- 基礎知識は生徒にやらせる。その意味で自学用教材は必要
- トレーニング系統, 新しい形式に対応している問題。テスト前に予習できるものがあると良い。特に進研模試を意識したもの。
- 今までない科目を教えることになるので, そこをサポートできる副教材は欲しい。

ご注文、見本請求に関するお問い合わせは、以下の窓口までお願いいたします。

ラーンスお客様センター

0120-548155

通話料無料

受付時間/月～金 9:00～17:00(祝日、年末・年始を除く)

右記URLからもご注文いただくことができます。

<https://www.learn-s.co.jp/>



株式会社ラーンス

〒700-0807 岡山市北区南方3-7-17